

小牧市上下水道事業の令和3年度決算

1. 水道事業

1. 1. 概況

表 1 過年度の水道事業概況

	単位	H29	H30	R1	R2	R3
給水人口	人	152,860	152,739	152,768	151,837	150,601
配水量	m <sup>3</sup>	20,081,885	20,041,581	19,849,512	20,301,628	19,986,426
有収水量	m <sup>3</sup>	18,814,282	18,732,909	18,505,255	18,862,511	18,588,645
有収率	%	93.69%	93.47%	93.23%	92.91%	93.01%
泉水受水量	m <sup>3</sup>	13,184,920	13,101,610	12,798,514	13,373,190	12,906,730
自己水率	%	34.34%	34.63%	35.52%	34.13%	35.42%
料金収入	千円	2,374,508	2,362,708	2,329,461	2,039,749	2,326,186
供給単価	円/m <sup>3</sup>	126.21	126.13	125.88	108.14	125.14

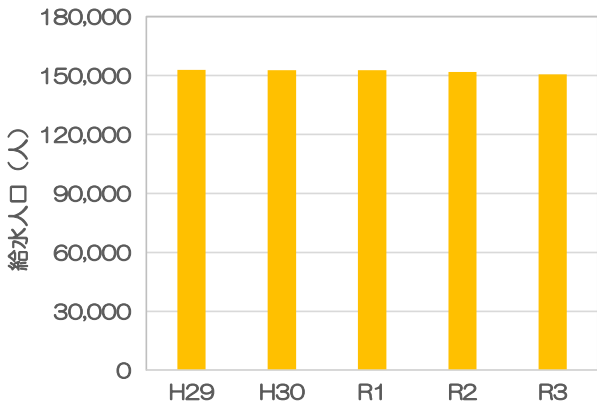


図 1 給水人口の過年度推移

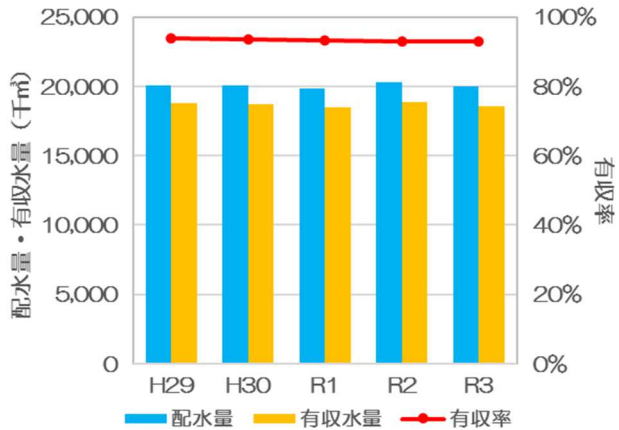


図 2 配水量・有収水量・有収率の過年度推移

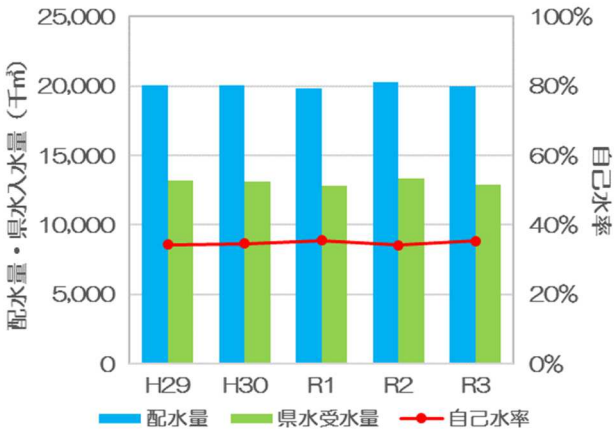


図 3 配水量・泉水受水量・自己水率の過年度推移

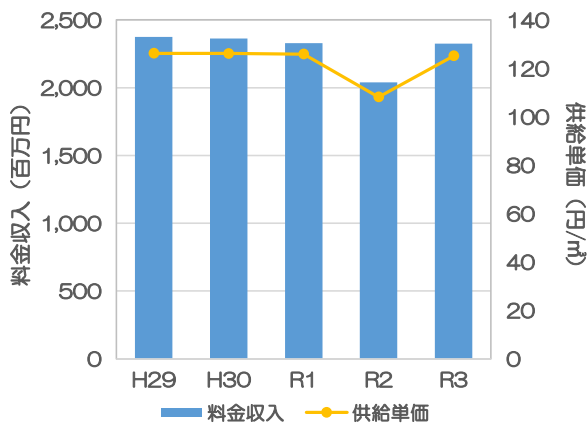


図 4 料金収入・供給単価の過年度推移

## 1. 2. 主な事業

### (1) 令和3年度の主な事業

ソフト	ハード
<p>■普及活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 水道週間啓発活動（愛知の水配布等）</li> </ul> <p>■災害対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 災害時の応援活動に関する協定の締結（R4.1.7）</li> </ul> <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 小牧市水道水質検査計画に基づく水質検査</li> <li>➢ 水道料金及び下水道使用料のモバイル決済導入についての研究・準備（R4.11月開始）</li> </ul>	<p>□修繕・改築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 横内6号取水井の清掃修繕</li> <li>➢ 横内浄水場の更新（令和4年度まで）</li> <li>➢ 本庄配水池の緊急遮断弁制御盤の更新</li> </ul> <p>□耐震化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 幹線耐震ループ化計画（ループ管）事業</li> <li>➢ 送水管（横内浄水場～本庄配水池）整備事業</li> </ul>

### (2) 配水管の総延長

表2 配水管の総延長

単位：m

R2末総延長	R3 整備延長	R3 廃止延長	R3 末総延長
①	②	③	④=①+②-③
914,279	1,429	563	915,145

### (3) 更新延長、管路経年化率、管路更新率

表3 管路更新に係る指標

	単位	R3	R2	比較
更新延長	m	866	1,768	△902
管路経年化率	%	30.61	27.94	2.67
管路更新率	%	0.55	0.59	△0.04

# 1. 3. 決算報告

## (1) 収益的収入

表4 収益的収入の実績と対前年度比較

(税抜)(単位:円)

		R3	R2	対前年度比較	
				増減額	比率(%)
営業収益	給水収益 (水道料金収入)	2,326,185,654	2,039,749,621	286,436,033	114.04
	他会計負担金 (一般会計からの負担金収入)	7,177,510	562,250	6,615,260	1,276.57
	その他の営業収益	153,326,489	157,964,794	△ 4,638,305	97.06
		2,486,689,653	2,198,276,665	288,412,988	113.12
営業外収益	受取利息及び配当金	3,999,845	4,795,800	△ 795,955	83.40
	他会計補助金 (一般会計からの補助金収入)	1,028,000	317,536,100	△ 316,508,100	0.32
	長期前受金戻入	316,057,467	326,015,540	△ 9,958,073	96.95
	雑収益	11,015,442	13,146,120	△ 2,130,678	83.79
	332,100,754	661,493,560	△ 329,392,806	50.20	
特別利益	固定資産売却益	0	106,510	△ 106,510	皆減
	過年度損益修正益	37,888	45,111	△ 7,223	83.99
	その他特別利益	2,682,963	0	2,682,963	皆増
	2,720,851	151,621	2,569,230	1,794.51	
合計		2,821,511,258	2,859,921,846	△ 38,410,588	98.66

### 【増減の大きな項目】

- ▶ 給水収益：R2 年度に新型コロナウイルス対策で約3億1千6百万円の水道使用料の減額を行ったため、約2億8千6百万円の増加  
(※仮にこの減額が無ければ R3 年度は令和2年度に比べて約3千万円の減少となる見込み)
- ▶ 他会計負担金：8 件分の消火栓補修により約7百万円の増加
- ▶ 他会計補助金：前述の新型コロナウイルス対策の水道使用料の減額に要する経費を R2 年度に一般会計から補助金として収入していたものが皆減したことにより、約3億1千7百万円の減少

収益的収入の合計は、約3千8百万円の減少となりました。

## (2) 収益的支出

表5 収益的支出の実績と対前年度比較

(税抜) (単位: 円)

		R3	R2	対前年度比較	
				増減額	比率(%)
営業費用	原水及び浄水費 (原水取水、浄水施設の維持管理)	1,167,291,251	1,253,179,851	△ 85,888,600	93.15
	配水及び給水費 (給配水管路の維持管理)	150,728,647	128,425,180	22,303,467	117.37
	業務費 (開閉栓受付や料金徴収業務)	127,445,186	113,976,486	13,468,700	111.82
	総係費 (総務及び経営管理)	83,183,679	85,325,288	△ 2,141,609	97.49
	減価償却費	842,094,335	840,805,464	1,288,871	100.15
	資産減耗費	20,446,752	20,786,496	△ 339,744	98.37
		2,391,189,850	2,442,498,765	△ 51,308,915	97.90
営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	29,785,030	36,608,313	△ 6,823,283	81.36
	雑支出	35,912	33,200	2,712	108.17
		29,820,942	36,641,513	△ 6,820,571	81.39
特別損失	固定資産売却損	0	98,950	△ 98,950	皆減
	過年度損益修正損	2,023,405	727,762	1,295,643	278.03
		2,023,405	826,712	1,196,693	244.75
	合計	2,423,034,197	2,479,966,990	△ 56,932,793	97.70

### 【増減の大きな項目】

- ▶ 原水及び浄水費：委託料や受水費の減少などにより約 8 千 6 百万円の**減少**
- ▶ 配水及び給水費：給配水管漏水修繕件数の増加などにより、約 2 千 2 百万円の**増加**
- ▶ 業務費：委託料の増加などにより、約 1 千 3 百万円の**増加**

収益的支出の合計は約 5 千 7 百万円の**減少**となりました。

### 【収益的収支の計算】

収益的収入 2,821,511,258 円 — 収益的支出 2,423,034,197 円

＝純利益 398,477,061 円

### (3) 資本的収入

表6 資本的収入の実績と対前年度比較

(税込)(単位：円)

		R3	R2	対前年度比較	
				増減額	比率(%)
資本的収入	負担金 (給配水工事に係る負担金収入)	121,459,605	110,345,740	11,113,865	110.07
	出資金 (一般会計からの出資金収入)	130,000,000	130,000,000	0	100.00
	他会計負担金 (一般会計からの負担金収入)	24,267,570	19,781,620	4,485,950	122.68
	固定資産売却代金	0	258,709	△ 258,709	皆減
		275,727,175	260,386,069	15,341,106	105.89

#### 【増減の大きな項目】

- 負担金：区画整理事業や下水道事業からの工事負担金の増により、約1千1百万円の増加
- 他会計負担金：24件分の消火栓新設撤去により約4百万円の増加

資本的収入の合計は約1千5百万円の増加となりました。

## (4) 資本的支出

表7 資本的支出の実績と対前年度比較

(税込)(単位:円)

		R3	R2	対前年度比較	
				増減額	比率(%)
資本的支出	建設改良費	1,168,492,278	977,137,160	191,355,118	119.58
	拡張費 (基幹管路の整備、複線化事業)	373,264,935	250,644,648	122,620,287	148.92
	建設改良費 (老朽管路・施設の更新事業)	793,664,418	720,367,362	73,297,056	110.17
	固定資産購入費	1,562,925	6,125,150	△ 4,562,225	25.52
	企業債償還金	208,937,026	221,379,019	△ 12,441,993	94.38
	投資	0	0	0	—
		1,377,429,304	1,198,516,179	178,913,125	114.93

### 【増減の大きな項目】

- 拡張費：基幹管路整備事業（ループ管整備事業）などにより約1億2千3百万円の増加。
- 建設改良費：老朽管路更新事業や横内浄水場更新事業などにより約7千3百万円の増加。
- 企業債償還金：新たな企業債借入をしていないため、約1千2百万円の減少

資本的支出の合計は約1億7千9百万円の増加となりました。

### 【キャッシュ・フロー計算書】

#### ①業務活動によるキャッシュ・フロー：業務CF

当年度純利益や減価償却費などの増加額と長期前受金戻入や利息支払などの減少額により算出

#### ②投資活動によるキャッシュ・フロー：投資CF

有形固定資産の取得による支出と一般会計からの工事負担金等による収入により算出

#### ③財政活動によるキャッシュ・フロー：財政CF

企業債償還による支出と出資金による収入により算出

#### 資金期末残高

$$\begin{aligned}
 &= \text{資金期首残高} + ( \text{①業務CF} + \text{②投資CF} + \text{③財政CF} ) \\
 &= 5,535,824,272 \text{円} + ( 808,404,621 \text{円} - 856,182,732 \text{円} - 78,937,026 \text{円} ) \\
 &= 5,409,109,135 \text{円} ( 126,715,137 \text{円の減少} )
 \end{aligned}$$

(5) 貸借対照表

表8 貸借対照表の概要

単位：千円

			R4.3.31	R3.3.31	増減額
資産の部	固定資産	有形固定資産	20,997,783	20,807,339	190,444
		無形固定資産	18,089	1,524	16,565
		投資その他資産	199,847	199,722	125
			21,215,719	21,008,585	207,134
	流動資産	現金預金	5,409,109	5,535,824	△ 126,715
		未収金・貸倒引当金	329,147	309,963	19,184
		貯蔵品	22,267	21,282	985
		前払金	246,800	193,300	53,500
			6,007,323	6,060,369	△ 53,046
			27,223,042	27,068,954	154,088
負債資本	固定負債	企業債	930,025	1,123,393	△ 193,368
		引当金	32,835	47,597	△ 14,762
			962,860	1,170,990	△ 208,130
	流動負債	企業債	193,368	208,937	△ 15,569
		未払金	311,964	313,369	△ 1,405
		前受金	14,680	759	13,921
		引当金	17,519	18,393	△ 874
		その他流動負債	100,392	86,073	14,319
			637,923	627,531	10,392
	繰延収益	長期前受金	18,490,477	18,432,033	58,444
		収益化累計額	△ 11,736,321	△ 11,492,146	△ 244,175
		建設仮勘定長期前受金	10,601	1,521	9,080
			6,764,757	6,941,408	△ 176,651
			8,365,540	8,739,929	△ 374,389
	資本の部	資本金	15,036,385	14,580,370	456,015
		剰余金	資本剰余金	2,766,553	2,766,553
利益剰余金			1,054,564	982,102	72,462
			3,821,117	3,748,655	72,462
		18,857,502	18,329,025	528,477	
		27,223,042	27,068,954	154,088	

【前年度末からの増減】

- 資産の部：基幹管路整備事業や老朽管路更新事業などにより約1億5千4百万円の増加
  - 負債の部：新たな企業債借入れを行わなかったことなどにより約3億7千4百万円の減少
- 資本金は約4億5千6百万円の増加となりました。

【主な分析指標】

- 自己資本構成比率 = 自己資本(資本金+剰余金+繰延収益) ÷ 総資産(負債+資本) ×100
- 固定資産対長期資本比率 = 固定資産 ÷ (自己資本+固定負債) ×100
- 流動比率 = 流動資産 ÷ 流動負債 ×100

表9 主な分析指標の過年度推移

単位：%

	H29	H30	R1	R2	R3
自己資本構成比率	89.0	91.5	92.4	93.4	94.1
固定資産対長期資本比率	80.5	79.5	79.6	79.5	79.8
流動比率	544.3	878.5	903.3	965.7	941.7

## 1. 4. 経営指標

### (1) 主な経営指標

表 10 主な経営指標の過年度推移

	H29	H30	R1	R2	R3
経常収支比率	114.68	120.73	115.83	115.35	116.43
料金回収率	107.98	113.60	109.30	94.73	110.51
有形固定資産減価償却率	50.75	51.69	52.43	53.25	54.08

単位：%

- 経常収支比率＝（営業収益＋営業外収益）÷（営業費用＋営業外費用）×100

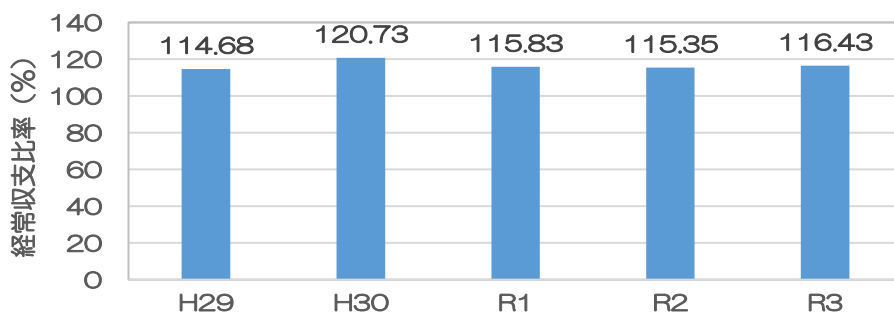


図5 経常収支比率の過年度推移

- 料金回収率＝供給単価÷給水原価×100

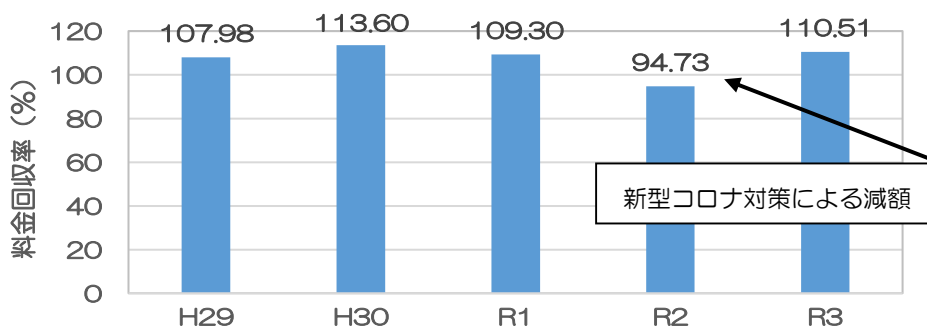


図6 料金回収率の過年度推移

- 有形固定資産減価償却率

＝有形固定資産減価償却累計額÷有形固定資産の内償却対象資産の帳簿原価×100

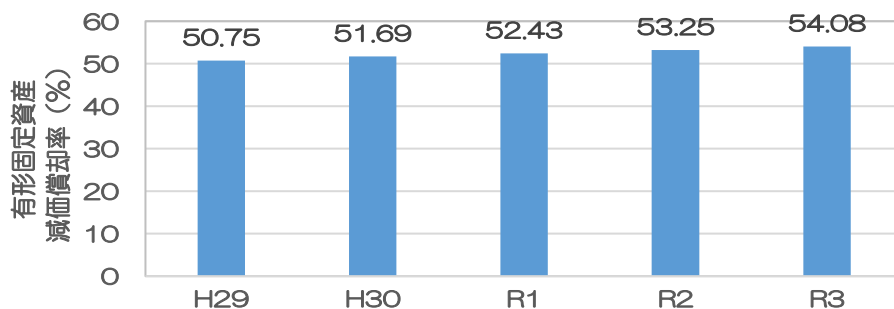


図7 有形固定資産減価償却率の過年度推移



## (2) 純損益

表 11 収益的収支及び純損益の過年度推移

(税抜) (単位：千円)

	H29	H30	R1	R2	R3
収益的収入	3,007,618	2,945,960	2,879,968	2,859,922	2,821,511
収益的支出	2,639,903	2,441,502	2,540,967	2,479,967	2,423,034
純損益	367,715	504,458	339,001	379,955	398,477

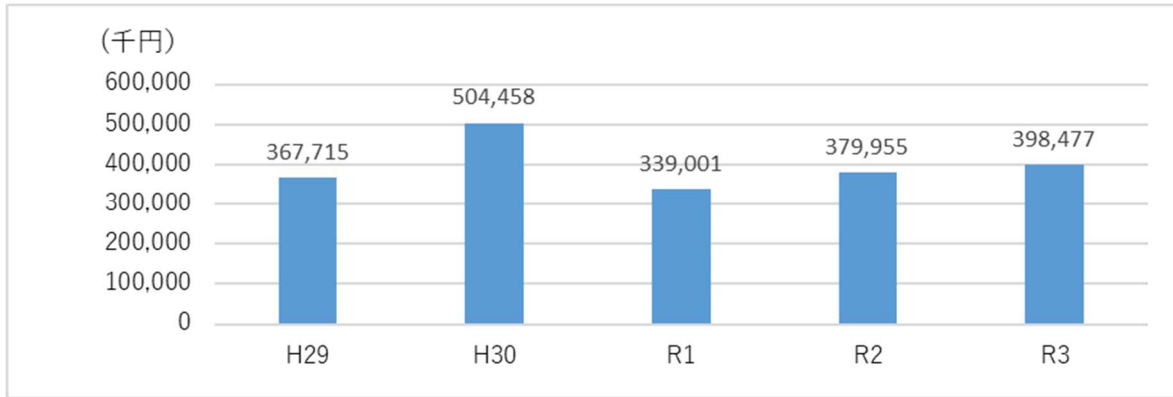


図8 純損益の過年度推移

## (3) 資金期末残高

表 12 資金期末残高の過年度推移

	単位	H29	H30	R1	R2	R3
資金期末高	千円	5,727,519	5,627,916	5,592,301	5,535,824	5,409,109
年度内増減額	千円	△ 6,120	△ 99,603	△ 35,615	△ 56,477	△ 126,715
前年度末比	%	99.89	98.26	99.37	98.99	97.71

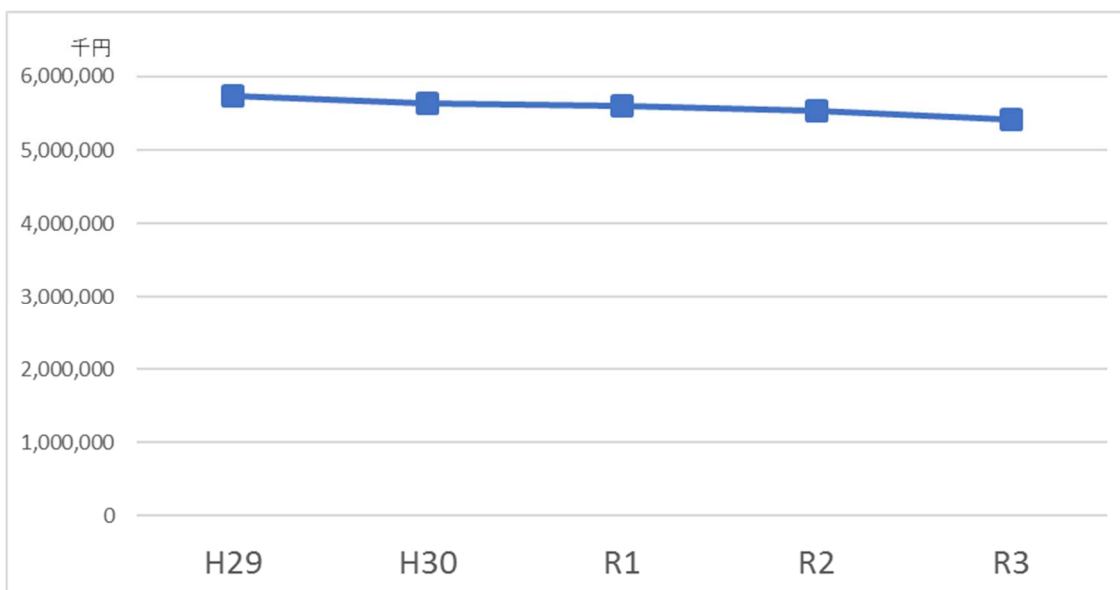


図9 資金期末残高の過年度推移

#### (4) 企業債

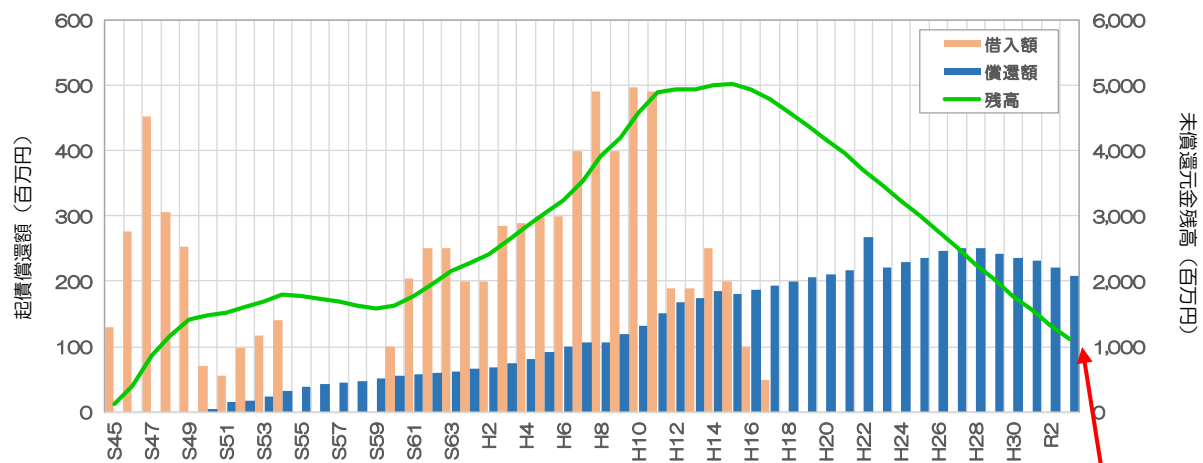


図 10 企業債の借入額と償還額、残高の実績

R3 末残高：11 億 2 千 3 百万円

## 1. 5. ビジョン・経営戦略の進捗

### (1) 基本目標

#### 基本目標1 【安全】「安全・安心な水道」の指標

指標番号	指標名	単位	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R11目標 (2029)	県内団体平均 R1(2019)
—	水質基準不適合率	(%)	0	0	0	0	0を維持	—
B101	自己保有水源率	(%)	28	28	28	29	28以上	20.8

#### 基本目標2 【強靱】「災害に強く安定した水道」の指標

指標番号	指標名	単位	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R11目標 (2029)	県内団体平均 R1(2019)
B602	浄水施設の耐震化率	(%)	92.7	92.7	92.7	92.7	97.2	48.7
B504	管路の更新率	(%)	0.63	0.75	0.59	0.55	1.0以上	0.82
B605	管路の耐震管率	(%)	22.2	23.2	23.9	24.6	34.5以上	18.5
—	ループ管の整備率	(%)	88.9	92.9	94.8	95.9	100	—
—	重要給水施設への管路整備率	(%)	72.6	72.8	74.5	76.6	100	—
—	送水管（横内浄水場～本庄配水池）の整備率	(%)	0	0	0	7.2	100	—

#### 基本目標3 【持続】「次世代へつなぐ持続可能な水道」の指標

指標番号	指標名	単位	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R11目標 (2029)	県内団体平均 R1(2019)
C102	経常収支比率	(%)	120.7	115.8	115.4	116.4	100以上	112.1

※指標番号は水道事業ガイドライン（PI）の番号です。

「—」の指標は本市が独自に定めた指標です。

## 2. 下水道事業

### 2. 1. 概況

#### (1) 公共下水道事業

表 13 過年度の下水道事業概況（公共下水道事業）

	単位	H29	H30	R1	R2	R3
水洗化人口	人	104,034	104,783	106,284	108,508	108,338
処理水量	m <sup>3</sup>	16,238,559	16,252,404	16,337,860	16,906,445	16,766,054
有収水量	m <sup>3</sup>	13,052,115	12,957,999	12,922,537	13,228,581	13,082,544
有収率	%	80.38	79.73	79.10	78.25	78.03
使用料収入	千円			1,167,994	1,174,779	1,162,388
使用料単価	円/m <sup>3</sup>			90.38	88.81	88.85

※使用料収入及び使用料単価は特別会計と企業会計で計上方法が異なるので令和元年度以降を掲載

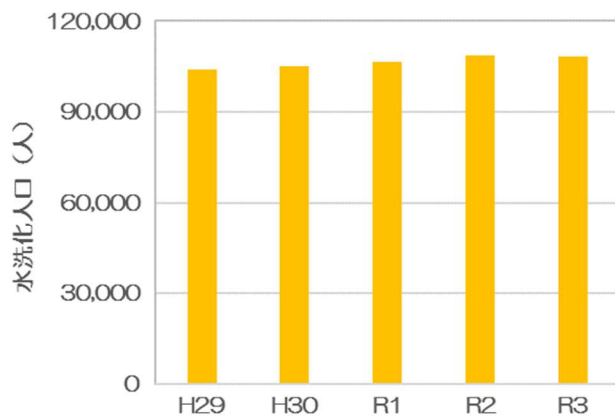


図 11 水洗化人口の過年度推移

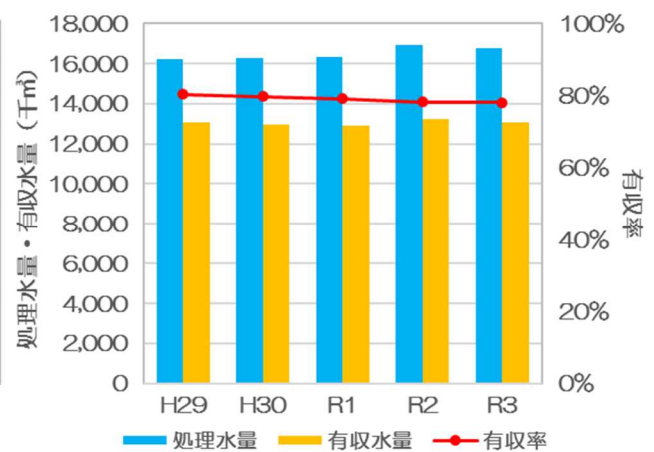


図 12 処理水量・有収水量・有収率の過年度推移

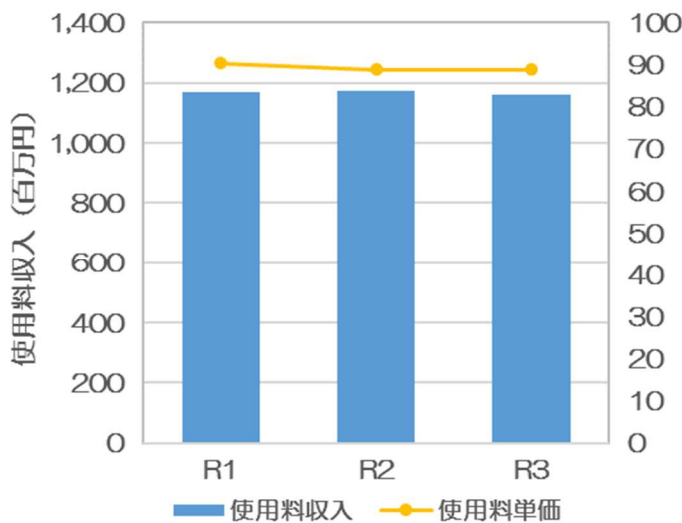


図 13 使用料収入・使用料単価の過年度推移

## (2) 農業集落排水事業

表 14 過年度の下水道事業概況（農業集落排水事業）

	単位	H29	H30	R1	R2	R3
水洗化人口	人	1,119	1,111	1,085	1,084	1,097
処理水量	m <sup>3</sup>	171,944	171,049	146,736	160,585	156,706
有収水量	m <sup>3</sup>	113,849	112,196	111,119	114,617	113,903
有収率	%	66.21	65.59	75.73	71.37	72.69
使用料収入	千円			8,845	9,140	9,122
使用料単価	円/m <sup>3</sup>			79.60	79.74	80.09

※使用料収入及び使用料単価は特別会計と企業会計で計上方法が異なるので令和元年度以降を掲載

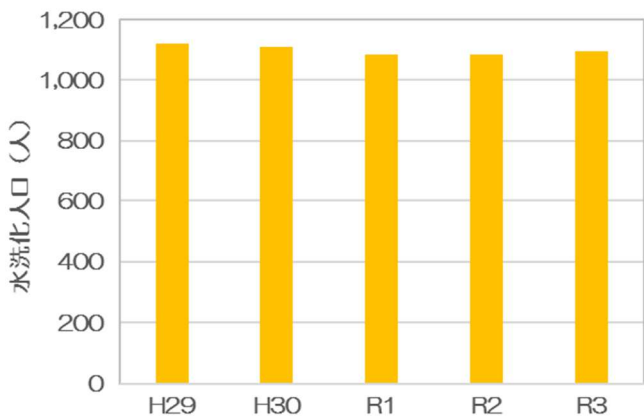


図 14 水洗化人口の過年度推移

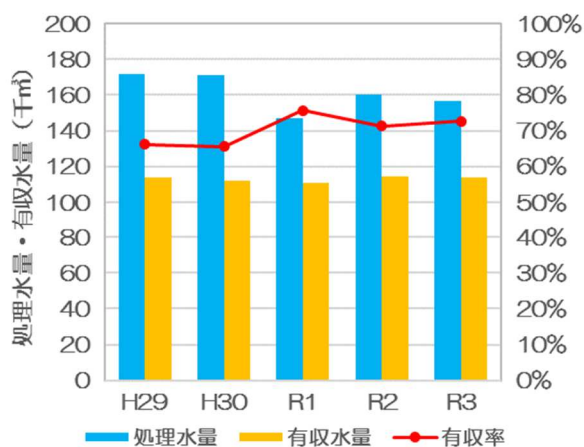


図 15 処理水量・有収水量・有収率の過年度推移

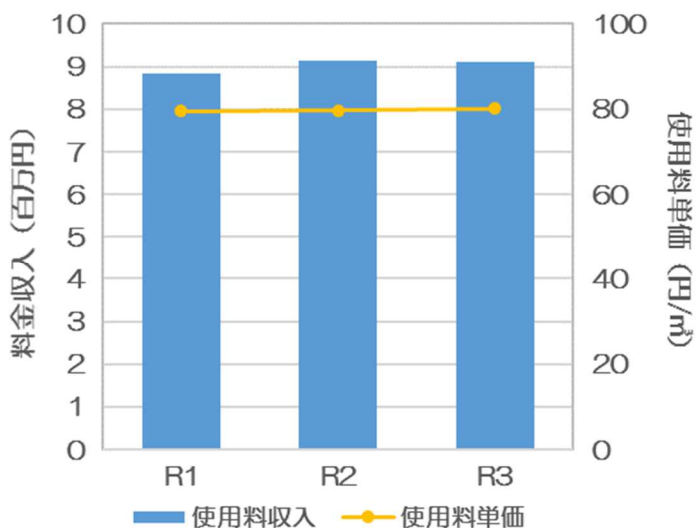


図 16 使用料収入・使用料単価の過年度推移

## 2. 2. 主な事業

### (1) 令和3年度の主な事業

ソフト	ハード
<p>■普及活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ マンホールカード配布</li> <li>➢ 啓発用トイレトペーパー設置</li> </ul> <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 小牧市下水道事業長期経営計画作成 (令和4年6月策定)</li> </ul>	<p>□未普及解消</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 入鹿出新田・西之島地区、下小針中島地区、久保一色地区等での汚水幹枝線の新設</li> </ul> <p>□改築・更新</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 桃花台汚水中継ポンプ場ストックマネジメント実施計画の作成(令和4年11月策定)</li> <li>➢ 公共下水道事業の管更生</li> <li>➢ 農業集落排水事業の管更生</li> </ul>

### (2) 下水道管渠の総延長

表 15 下水道管渠の総延長

単位：m

	R2 未総延長	R3 整備延長	R3 廃止延長	R3 未総延長
	①	②	③	④=①+②-③
公共下水道事業	708,481	2,449	6	710,924
農業集落排水事業	18,302	0	0	18,302
合 計	726,783	2,449	6	729,226

### (3) 管更生、管渠老朽化率、管渠改善率

表 16 管更生に係る指標

		単位	R3	R2	比較
管更生	公共下水道事業	m	644	763	△119
	農業集落排水事業	m	1,381	1,100	281
	合 計	m	2,025	1,863	162
管渠老朽化率		%	2.43	2.17	0.26
管渠改善率		%	0.28	0.26	0.02

#### (4) 供用開始区域の推移

表 17 供用開始区域の推移

		H29	H30	R1	R2	R3
供用開始面積 (ha)	公共下水道事業	2,166	2,201	2,228	2,282	2,313
	農業集落排水事業	69	69	69	69	69
		2,235	2,270	2,297	2,351	2,382
供用開始人口 (人)	公共下水道事業	113,729	114,413	115,528	117,638	117,206
	農業集落排水事業	1,279	1,259	1,222	1,216	1,222
		115,008	115,672	116,750	118,854	118,428
人口普及率 (%)	公共下水道事業	74.36	74.87	75.59	77.43	77.78
	農業集落排水事業	0.84	0.82	0.80	0.80	0.81
		75.20	75.69	76.39	78.23	78.59

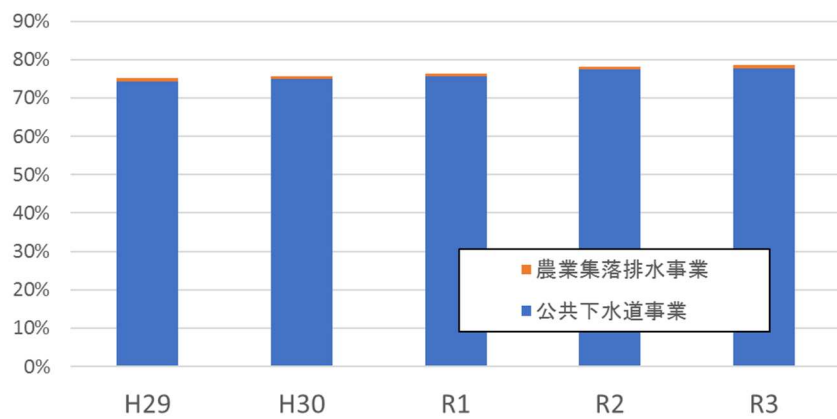


図 17 人口普及率の過年度推移

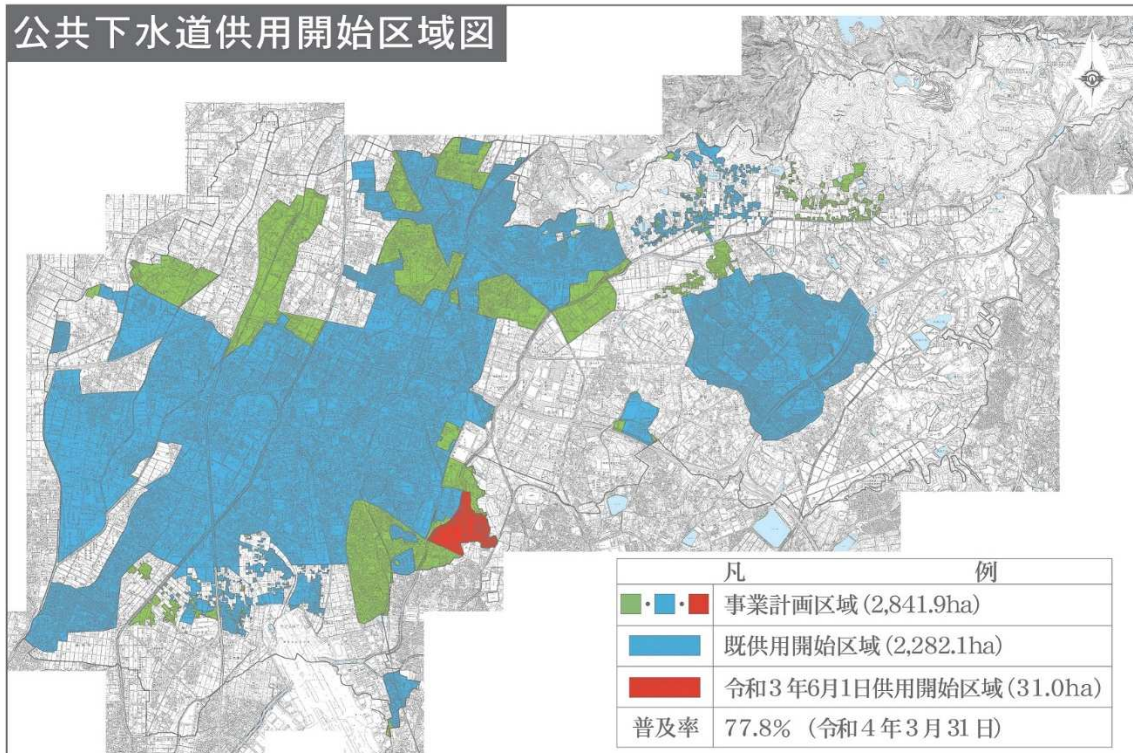


図 18 公共下水道供用開始区域図

## 2. 3. 決算報告

### (1) 収益的収入

表 18 収益的収入の実績と対前年度比較

(税抜)(単位：円)

		R3	R2	対前年度比較	
				増減額	比率(%)
営業収益	下水道収益 (下水道使用料収入)	1,171,510,359	1,183,918,897	△ 12,408,538	98.95
	他会計負担金 (雨水処理にかかる一般会計繰入金)	66,526,454	73,055,958	△ 6,529,504	91.06
	その他の営業収益	153,600	209,800	△ 56,200	73.21
		1,238,190,413	1,257,184,655	△ 18,994,242	98.49
営業外収益	受取利息及び配当金	3,629	4,235	△ 606	85.69
	他会計負担金 (汚水処理等にかかる一般会計繰入金)	215,165,026	221,804,510	△ 6,639,484	97.01
	他会計補助金 (収支不足分に対する一般会計繰入金)	301,147,970	120,997,239	180,150,731	248.89
	長期前受金戻入	1,093,363,068	1,103,070,436	△ 9,707,368	99.12
	雑収益	352,682	565,553	△ 212,871	62.36
	1,610,032,375	1,446,441,973	163,590,402	111.31	
特別利益	固定資産売却益	0	27,269	△ 27,269	皆減
	過年度損益修正益	1,388,551	0	1,388,551	皆増
	引当金戻入益	940,879	0	940,879	皆増
	その他特別利益	0	175,149,230	△ 175,149,230	皆減
	2,329,430	175,176,499	△ 172,847,069	1.33	
合計		2,850,552,218	2,878,803,127	△ 28,250,909	99.02

#### 【増減の大きな項目】

- 下水道収益：節水に対する意識向上・人口減少などにより約1千2百万円の**減少**。
- 他会計補助金：その他特別利益の皆減分の補てん等により約1億8千万円の**増加**。
- その他特別利益：流域下水道維持管理負担金返還金の皆減により約1億7千5百万円の**皆減**

収益的収入の合計は約2千8百万円の**減少**となりました。



## (2) 収益的支出

表 19 収益的支出の実績と対前年度比較

(税抜)(単位：円)

		R3	R2	対前年度比較	
				増減額	比率(%)
営業費用	污水管渠費	172,046,077	164,545,792	7,500,285	104.56
	污水ポンプ場費	24,825,937	26,013,656	△ 1,187,719	95.43
	流域下水道維持管理負担金	807,830,355	814,774,602	△ 6,944,247	99.15
	雨水施設費	11,445,829	17,048,781	△ 5,602,952	67.14
	農業集落排水施設費	30,083,879	25,898,979	4,184,900	116.16
	業務費 (接続受付や負担金徴収業務)	86,348,723	83,047,744	3,300,979	103.97
	総係費 (総務及び経営管理)	59,762,024	61,197,492	△ 1,435,468	97.65
	減価償却費	1,498,845,008	1,500,781,461	△ 1,936,453	99.87
	資産減耗費	230,521	14,289,424	△ 14,058,903	1.61
		2,691,418,353	2,707,597,931	△ 16,179,578	99.40
営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	148,926,644	168,457,679	△ 19,531,035	88.41
	雑支出	2,411,580	2,353,503	58,077	102.47
		151,338,224	170,811,182	△ 19,472,958	88.60
特別損失	過年度損益修正損	1,095,641	394,014	701,627	278.07
		1,095,641	394,014	701,627	278.07
合計		2,843,852,218	2,878,803,127	△ 34,950,909	98.79

### 【増減の大きな項目】

- 污水管渠費：管路補修工事の増等により約8百万円の**増加**
- 流域下水道維持管理負担金：汚水処理水量の減により約7百万円の**減少**
- 資産減耗費：工事に伴う除却資産の減により約1千4百万円の**減少**
- 支払利息及び企業債取扱諸費：企業債の償還が進んだことにより約2千万円の**減少**

収益的支出の合計は約3千5百万円の**減少**となりました。

### 【収益的収支の計算】

収益的収入 2,850,552,218 円 — 収益的支出 2,843,852,218 円

＝純利益 6,700,000 円

(※純利益は令和4年度への繰越財源を計上したものです。)

### (3) 資本的収入

表 20 資本的収入の実績と対前年度比較

(税込) (単位：円)

		R3	R2	対前年度比較	
				増減額	比率(%)
資本的収入	企業債	296,600,000	232,800,000	63,800,000	127.41
	負担金 (受益者負担金など)	140,153,280	101,356,850	38,796,430	138.28
	出資金 (収支不足分に対する一般会計繰入金)	468,338,856	616,846,599	△ 148,507,743	75.92
	他会計負担金 (雨水施設整備などにかかる 一般会計繰入金)	122,068,134	77,337,008	44,731,126	157.84
	固定資産売却代金	0	1	△ 1	皆減
	補助金 (国庫補助金)	178,400,000	243,410,000	△ 65,010,000	73.29
		1,205,560,270	1,271,750,458	△ 66,190,188	94.80

#### 【増減の大きな項目】

- 企業債：流域下水道建設負担金の増に伴う借入増などにより約6千4百万円の増加
- 負担金：供用開始面積増に伴う受益者負担金の増などにより約3千9百万円の増加
- 出資金：資本的支出の減により約1億4千9百万円の減少
- 他会計負担金：雨水処理施設整備に係る費用の増などにより約4千5百万円の増加
- 補助金：国庫補助対象事業の減により約6千5百万円の減少

資本的収入の合計は約6千6百万円の減少となりました。

#### (4) 資本的支出

表 21 資本的支出の実績と対前年度比較

(税込)(単位：円)

	R3	R2	対前年度比較		
			増減額	比率(%)	
資本的支出	建設改良費	899,915,755	1,007,709,036	△ 107,793,281	89.30
	汚水管渠建設改良費	630,625,539	704,847,669	△ 74,222,130	89.47
	汚水ポンプ場建設改良費	13,180,000	12,920,000	260,000	102.01
	流域下水道建設負担金	92,122,791	42,064,967	50,057,824	219.00
	雨水施設建設改良費	62,688,425	178,021,010	△ 115,332,585	35.21
	農業集落排水施設建設改良費	101,299,000	69,047,000	32,252,000	146.71
	固定資産購入費	0	808,390	△ 808,390	皆減
	企業債償還金	680,577,963	716,362,147	△ 35,784,184	95.00
	過年度返還金	0	0	0	—
		1,580,493,718	1,724,071,183	△ 143,577,465	91.67

#### 【増減の大きな項目】

- 汚水管渠建設改良費：汚水工事費の減などにより約7千4百万円の**減少**
- 流域下水道建設負担金：五条川左岸処理場における工事費の増により約5千万円の**増加**
- 雨水施設建設改良費：雨水工事費の翌年度繰越などにより約1億1千5百万円の**減少**
- 農業集落排水施設建設改良費：管更生工事費の増などにより約3千2百万円の**増加**
- 企業債償還金：企業債の償還が進んだことにより約3千6百万円の**減少**

資本的支出の合計は約1億4千4百万円の**減少**となりました。

#### 【キャッシュフロー計算書】（計算式は水道事業 6頁参照）

資金期末残高

$$\begin{aligned}
 &= \text{資金期首残高} + ( \text{①業務CF} + \text{②投資CF} + \text{③財政CF} ) \\
 &= 491,166,644 \text{ 円} + ( 319,739,705 \text{ 円} - 428,648,608 \text{ 円} + 84,360,893 \text{ 円} ) \\
 &= 466,618,634 \text{ 円} ( 24,549,010 \text{ 円の減少)
 \end{aligned}$$

(5) 貸借対照表

表 22 貸借対照表の概要

単位：千円

			R4.3.31	R3.3.31	増減額	
資産の部	固定資産	有形固定資産	37,424,473	38,025,866	△ 601,393	
		無形固定資産	2,779,799	2,817,081	△ 37,282	
		投資その他資産	1,696	1,706	△ 10	
				40,205,968	40,844,653	△ 638,685
	流動資産	現金預金	466,619	491,167	△ 24,548	
		未収金・貸倒引当金	280,761	254,996	25,765	
前払金		103,800	68,900	34,900		
			851,180	815,063	36,117	
			41,057,148	41,659,716	△ 602,568	
負債資本	固定負債	企業債	7,503,761	7,860,058	△ 356,297	
					7,503,761	7,860,058
	流動負債	企業債	652,897	680,578	△ 27,681	
		未払金	330,674	327,085	3,589	
		引当金	10,353	10,600	△ 247	
		その他流動負債	184,526	219,885	△ 35,359	
				1,178,450	1,238,148	△ 59,698
	繰延収益	長期前受金	22,872,968	22,513,598	359,370	
		収益化累計額	△ 3,285,692	△ 2,192,364	△ 1,093,328	
		建設仮勘定長期前受金	125,278	52,931	72,347	
				19,712,554	20,374,165	△ 661,611
				28,394,765	29,472,371	△ 1,077,606
	資本の部	資本金	12,287,770	11,819,432	468,338	
		利益剰余金	資本剰余金	367,913	367,913	0
			利益剰余金	6,700	0	6,700
			374,613	367,913	6,700	
			12,662,383	12,187,345	475,038	
			41,057,148	41,659,716	△ 602,568	

【前年度末からの増減】

- 資産の部：固定資産の減価償却が進んだことなどにより約 6 億 3 百万円の減少
- 負債の部：企業債の減及び繰延収益の減などにより約 10 億 7 千 8 百万円の減少

資本金は約 4 億 6 千 8 百万円の増加となりました。

【主な分析指標】

- 自己資本構成比率 = 自己資本(資本金+剰余金+繰延収益) ÷ 総資産(負債+資本) ×100
- 固定資産対長期資本比率 = 固定資産 ÷ (自己資本+固定負債) ×100
- 流動比率 = 流動資産 ÷ 流動負債 ×100

表 23 主な分析指標の過年度推移

単位：%

	R1	R2	R3
自己資本構成比率	77.3	78.2	78.9
固定資産対長期資本比率	101.1	101.0	100.8
流動比率	63.3	65.8	72.2

## 2. 4. 経営指標

### (1) 経常収支比率

- 経常収支比率 = (営業収益 + 営業外収益) ÷ (営業費用 + 営業外費用) × 100

表 24 経常収支比率の過年度推移

	単位：%		
	R1	R2	R3
経常収支比率	102.47	93.93	100.19

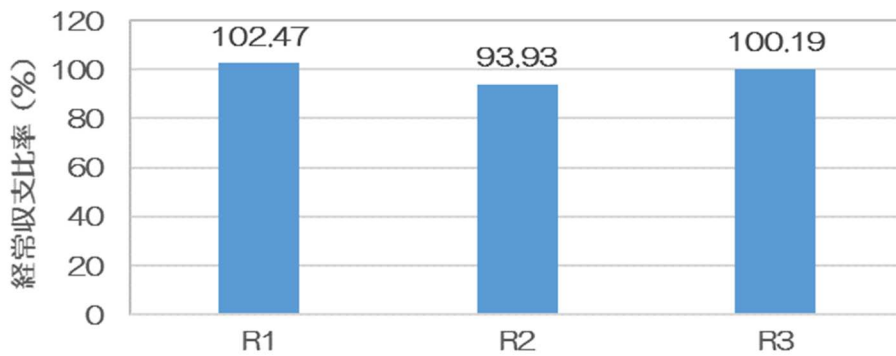


図 19 経常収支比率の過年度推移

### (2) 企業債

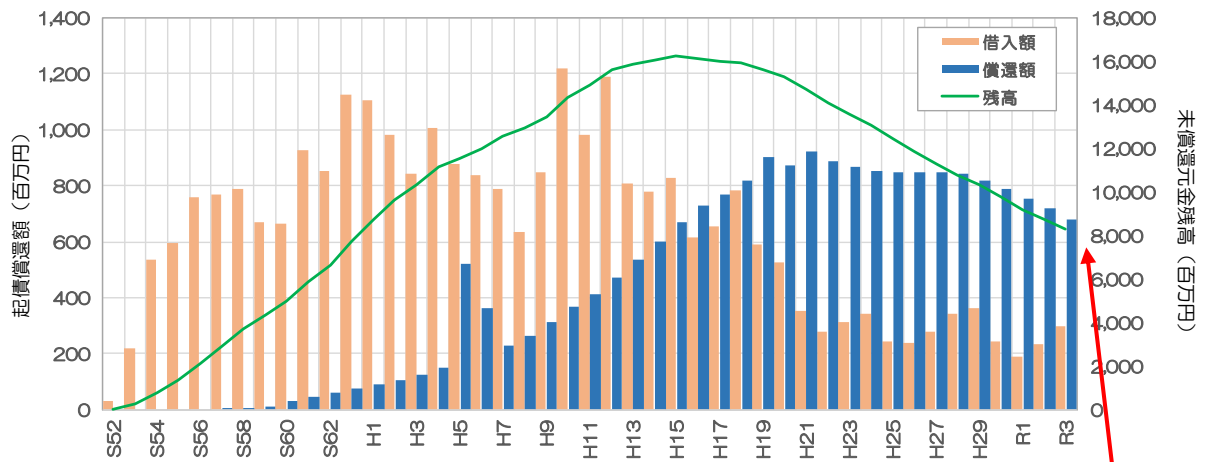


図 20 企業債の借入額と償還額、残高の実績

R3 末残高：81 億 5 千 7 百万円

## 2. 5. 長期経営計画の進捗

### (1) 全体計画の達成率

- 全体計画の達成率＝供用開始面積÷全体計画面積

表 25 長期経営計画の進捗

単位：％

指標名	R1	R2	R3	R13目標	R24目標
全体計画の達成率	61.10	61.83	63.31	90	100
(全体計画変更後の達成率)	(70.49)	(71.33)	(73.04)		

※全体計画変更手続きの途中のため、全体計画変更後の達成率見込みを括弧内に記載

### (2) 一般会計繰入金

表 26 一般会計繰入金の過年度推移

単位：千円

	R1	R2	R3
3条繰入金	534,058	415,857	582,839
基準内	271,376	294,860	281,691
基準外	262,682	120,997	301,148
4条繰入金	685,312	694,184	590,407
基準内	65,279	77,337	122,068
基準外	620,033	616,847	468,339
合計	1,219,370	1,110,041	1,173,246
基準内	336,655	372,197	403,759
基準外	882,715	737,844	769,487

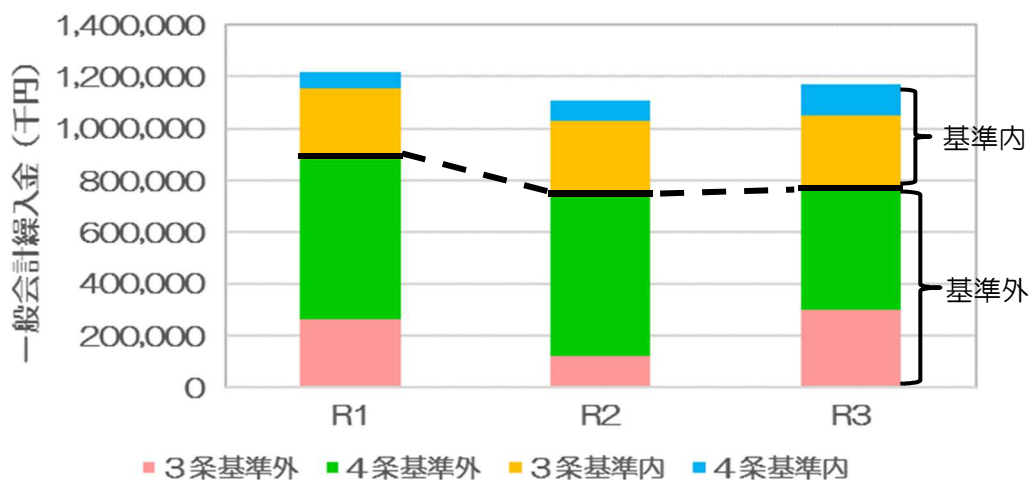


図 21 一般会計繰入金の過年度推移

### (3) 経費回収率

- 経費回収率＝使用料単価÷汚水処理原価×100

表 27 経費回収率の進捗

	単位	R1	R2	R3	R13目標	R33目標
使用料単価	円/m <sup>3</sup>	90.3	88.7	88.8	—	—
汚水処理原価	円/m <sup>3</sup>	151.2	150.9	151.0	—	—
経費回収率	%	59.7	58.8	58.8	100.0	100.0

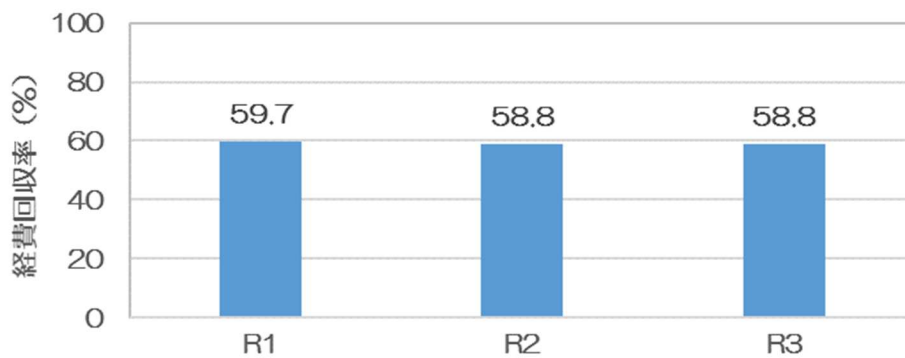
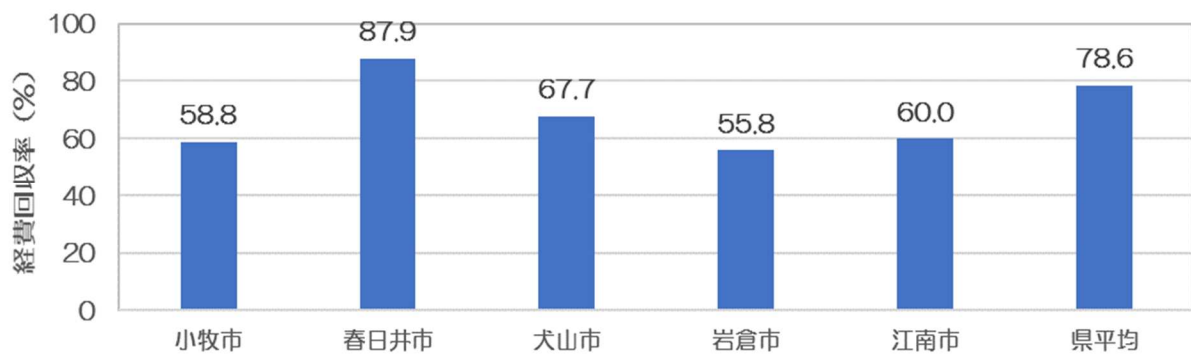


図 22 経費回収率の過年度推移

- 近隣市との比較（小牧市、春日井市は令和3年度、その他は令和2年度の数值）



(38市平均)

図 23 経費回収率の近隣市比較

## 2. 6. 社会資本総合整備計画の進捗

### (1) 小牧市における良好な水環境の形成（重点計画）

- 対象事業：污水管新設事業
- 計画期間：令和3年度～令和7年度
- 進捗状況

	事業費・目標指標	現況(R3末)	計画事業費・目標値	
			中間(R5末)	最終(R7末)
1	補助対象事業費（補助率50%）	122百万円	—	1,155百万円
2	下水道処理人口普及率	77.78%	79%	81%

※事業費は令和4年度への繰越分81百万円を除いた額

### (2) 小牧市における良好な水環境の形成と浸水対策による被害の軽減（防災・安全）

- 対象事業：①ストックマネジメント計画策定  
②桃花台污水中継ポンプ場改修工事
- 計画期間：令和2年度～令和6年度
- 進捗状況

	事業費・目標指標	現況(R3末)	計画事業費・目標値	
			中間(R4末)	最終(R6末)
1	補助対象事業費（補助率50%）	16百万円	—	172百万円
2	ストックマネジメント計画の策定率	0%	100%	100%
3	桃花台污水中継ポンプ場工事進捗率	0%	0%	46%